

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和3年 5月10日

回答率:保護者 9/15 職員8/8

事業所名: 多機能型事業所 わくわくクラブ  
放課後等デイサービス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1	7		・定員に対してのスペースとしては十分であるが、食堂スペースとの共有については適切とは思わない。 ・部屋が分かれているのは良いと思うが食堂を挟んでおり、支援に支障があるのでは? ・部屋が密になっている時がある。	6	3			・現状フロアを走ったり、ボールで遊ぶ事は控えている。座ってする活動を中心にしていく。 ・部屋移動の際の把握をしっかり行う。 ・部屋の密を避ける為、フロアを活用する。	
	2 職員の適切な配置	1	6	1	・配置基準は満たされているが、マンツーマン対応が多い場面では手薄な面もある。 ・足りていない	5	3		1	・午後からの行事等も踏まえ、職員の休憩等バランス良く行えるように調整していく。 ・現在1名求人、募集している。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	1		・部屋の壁の補修を行った。 ・パーテーションを利用する等、個々の空間等への配慮も進んでいる。それぞれの特性に応じた工夫もされている。 ・問1同様、良い面、悪い面あると思う。 ・パーテーションを追加購入し、活用が出来ていた。	6	2			・送迎をお願いしている為、見学、契約等で、その時のイメージで記入しました。	・今後もそれぞれ特性に応じた配慮を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	1		・問1同様、良い面、悪い面あると思う。	8	1			・送迎をお願いしている為、見学、契約等で、その時のイメージで記入しました。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	7	1								
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3	2	3	・実施予定であったが、コロナで延期。						・時期を見て実施する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
改善	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	2		・全体会等で時間は設けているが、参加率が低い。残り10分程では参加とは言えない。	/	/	/	/	/	・全体会には一人ずつでも参加できる調整を行う。時間の変更も検討する。 ・外部研修には、可能な限り参加している。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8				7	1		1	・子供の特性や我が家の事情に配慮してくださった支援をいただいています。	・今後も保護者と連携しながら、子どもの成長を見守っていただけたいと思います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8				7	1		1	・子供の特性や我が家の事情に配慮してくださった支援をいただいています。	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	1			/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8							・子供の特性や我が家の事情に配慮して下さった支援をいただいています。	・これからも無理なく楽しい活動が提供できるように配慮していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	1							
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	5	3						・ある程度は固定化している方が、子供が安心して活動できるのかなと思います。	・変化が苦手な方への配慮もしっかり行った上で、固定化しない工夫を行います。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	5	3							
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5	3		・保護者様より情報は職員間で迅速に共有する。					
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	2	3	2	・その日の振り返りは出来てない時があるが、翌日行っている。 ・勤務時間により確実に行うのは難しい。 ・利用終了時刻が遅く、余裕がない。 ・利用者の送迎、時間外になり、振り返りを出来る時間もない日もある。					・その日の振り返りが難しい場合は、翌日に行く。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	4		・取り組んだ事も大切かと思うが、利用中の様子、変化等記入が乏しい。 ・利用者によってばらつき有り。 ・記録は大事な業務の一つ。自分達を守る為にも活動内容だけでなく、利用者のその日の状態を細かく残してほしい。					・記録すべき内容を明確化する。主に支援計画。 ・体調の変化、発作後の様子、特筆すべき内容があった後の様子(どのように対応してどうなったか)を細かく記録する。 ・タブレット等、電子記録の活用も検討していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5	3		・モニタリングが出来ていない人がいる。(仕事の都合などで直接会って話し合いをする事が難しく、電話での聞き取りになっている。)					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	2		・パートさんの都合もあるが、担当者として参加できるような調整も必要だと思う。 ・パートさんも含め(時間的に難しい面もあるが)どんどん参加した方が良いと思う。						男性職員、女性職員でそれぞれの会に対応している。パートの参加は勤務時間の都合で難しい。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				・該当者なし						
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				・該当者なし						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	3								
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	3								
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	3	3	・コロナの影響	1	1	2	3		・現在コロナ影響で交流は出来ていないが、今後、児童館の利用を検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	7	1		・コロナの為わからない ・コロナの影響もあるが、交流行事は取り組めていない。児童センター等の利用を通じて交流する機会を探ってみてはどうか。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8				7	2				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7		1		6	3				
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	4	1	緊急時、送迎予定時刻、帰宅時などに不在で度々連絡が出来ない保護者あり。	2	1	3	3		・モニタリング等で利用者に応じた支援の方法を話し合い、実施しているが、もっと充実させていく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7	1			8	1				
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6	2			6	1	2			
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		1	7	・R2年度はコロナの影響もあり、実施は難しかったが、家族に参加して頂ける会を検討してほしい。 ・昨年実施予定だったが、コロナで出来ず。 ・以前にも伝えたが、年に1度でもそういう機会を作ってみては。来る、来ないは保護者の判断なので。		1	6	2	・特に改まっては必要ではないので。	・コロナの様子見て検討。 ・保護者の方から、必要ないとの意見もありますが、普段中々見えない部分を知って頂けるような機会を作ればと考えております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	1			5	1		3	・そのような事が無いので分からない。	
8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7	1			8	1					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7	1		5			4		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8				5	1		3	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	3			6	1		2	・策定していて、都度必要な事はお伝えしている。今後もプリントの配布等で周知していく。 ・定期的に緊急連絡先の確認を行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8				7	1		2	
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6	2		・全体会の参加を1人ずつでも。					
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	8								
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	8								
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	1		・数がもう少しだと思う。					